

SPITING OUT! "it's absolutely raw"

This paper gives you all the big news from the real world from the real scene.

feature interview

DJ KANGO

KOYAと共にHARLEM火曜日レギュラーイベント [RED ZONE] を支え続けるDJ KANGO。DANCERとしてもDJとしても常にシーンの中心で活躍し続け、HARLEM ver.2.0では古くからの盟友BIG LEAFとBUDDHA STRETCHをfeat.しプロデューサーとして初参加、今後は制作面に於いても目が離せないDJ KANGOのインタビュー。

■RED ZONEについて。スタートしてから今まで自分自身の中での変化はありますか？

最初の頃の事はもう憶えていない位だけど、毎週お客さんのテンションを見ていくうちに自分も変わってきて、かけ方を気にするようになったかな。逆にお客さんに対して自分自身が受け身になっちゃう事もあって、そういうのをもうちょっと意識しないようにしようと思いつつ、でも初期に比べると色々考えながらもリラックスしてやっているのかなって。最初は自分の中でセットを作ってやったりしたけど、最近はあんまり考えないでその日その日のノリでやっているかな。

■具体的に意識している事は？

RED ZONEだから出来る事って結構あるんですよ。DJ的に言うとトライしているというか、どっちかって言うと2回目にプレイする終わりに集中しちゃうんですけど、OLD SCHOOLをいっぱいかけたりだとかね。あとはなるべく自分のスタイルは変えないでやるって事かな。

■過去に来日した海外DJの中で特に印象に残っている人はいますか？

最近だとTONY TOUCH。後はSTRETCH ARMSTRONGとか。TONY TOUCHはこの前HOUSEをやったり、幅広いだけじゃなくてノリが良い。いきなりCRYSTAL WATERがかかったりしてんだけど、何か気持ちいいなみたいな。HIP HOPもちゃんとやってREGGAEもやってHIP HOPの色でHOUSEをかけたりするその雰囲気作りが良いなって思っ。俺も色々まだまだ勉強中だけど、HOUSEをかけるから云々じゃなくて、HIP HOPだけじゃなくて、全ジャンルを通して良い物良いって。JAMES BROWNのノリっていうか、あぁいうファンキーなのが好きなんで、そういうのをHIP HOPを通じて全部かけられればなってというのが理想で、それがあんまり違和感なく出来ればいいなと。あれHOUSEのDJなのかなっていう臭いが出ないようなやり方を色々な人聞いたりして自分なりに研究してます。やっぱり海外DJからはパワーをもらいますよ。もちろんKOYAとかKEN-BOもそうだし、普通にやらない人っていうか、そういう人は面白いなって。遊び心みたいなそういう所でヤラレちゃうっていうのもあるし、それだけ楽しませようっていう色々なアイデアを出してくる訳で、そういう所が凄く惹かれる部分でもあるし、自分でもやりたいなって思う所ですね。

■DJ、DANCE、制作とバランスを保つ秘訣は？

基本的には踊る事もDJする事も音を通じて楽しむ事だし、両方頑張ってるよって思うと空回りするから、何も考えずにマイペースに、両方やっている。楽しんでやれば出来る。DANCEに関しては体のケアだけは自分でやるしかないですね。そういう所は意識するようになってきたかな。酒は飲むけどトレーニングもやってキープしないと出来ないんで、でもノリで結構行っちゃうんですけどね。あんまり考えない方がいいと思うけど、一生懸命やらなきゃ人に証明出来ない事もあるから、そういう所のプライドだけは意識して自分のペースでやっていけばいいのかなって思うんですよ。スクール生にもあんまりあしるこころって言わないタイプなので。DANCEはノリとひたすら音を聴いて楽しんで、そこから自分の技術を徐々に磨けばいいんじゃないかって。

■DJ/DANCEそれぞれを始めたきっかけは？

最初はDANCEだけの事しか考えてなくて、ただ踊っていたらHIP HOPがかかっていったって感じで、本格的にはまったのはNYに初めていった時かな。DANCEを勉強しにNYに行って、クラブで踊っていて、こういう曲がかかるとか、色々音を憶えていくじや

ないですか。それでそういう音がだんだん好きになって、これがHIP HOPなんだって言ううちにレコードが欲しくなってきたり集めて、今度はDJやって自分でかけてみたいなって思ったのがきっかけで、DANCEがなかったら逆にHIP HOPとも出会ってなかったかも知れない。そこからどんどのめり込んで、踊って楽しい曲を最初はガンガンかけて、本物のDJを見ていくうちに、こういうやり方もあるんだっていうのを学んで、自分で吸収して幅を広げて、自分流に表現していくしかないなって。だからきっかけはやっぱりDANCEでもあるし、NYで自然に踊っている音がHIP HOPであったという流れで、その中でHOUSEにも出会って、CLASSICSにも出会って、最初は趣味みたいな感じでやっていたけど、パーティーで回していくうちに、同じ曲をずっとかけてても楽しくないので、それで広がって色々な音を知って出会ううちに、気付いたら俺DJやってるなって。

■DJとDANCEをやる時の気持ちの切り替えはありますか？

気持ちとしては一緒ですよ、DANCEでもDJでも学ぶ部分が多いから、両方やっている事によって得している部分もあるし、両方の世界の良い部分から色々なパワーを貰いながら自分のテンションを高めたりして、人からも凄いパワーを貰うし、自分でもパワーを出していかなきゃっていう所でやっているから、そういう意味では使い方によってはDANCEもDJも自分の中で良いですね。

■RED ZONE SPECIALでは1日の中でDJもDANCEもする日がありますが、そういう日はやっぱり大変ですか？

プレッシャーはキツイですよ。俺は自分の中で自分にプレッシャーをかけるから。やばい、ちゃんと出来るかなみたいな。でもやってみるとそんなに大変でもないかな。逆に吹っ切れちゃうというか、両方やっている時の方が調子が良いのかなって思う事もある。あんまり辛くはないですよ。むしろ楽しんでるかな。

■理想のパーティー像は？

新旧を問わず色々な音がかかっていて、大人から若い子まで遊べるような雰囲気が理想かな。ダンサーも一般の人達もDJもラッパーもみんなと一緒に遊ぶような状況が一番理想ですよな。

■他のレギュラーイベントに対して意識する事はありますか？

俺は普通に遊びに行くんだけど、あんまり意識はしないですね。どれに行っても楽しいと思う。ただ火曜日は俺とKOYAがやたらこうなるんだっていうのを自分らしく提示していけばそれが自然と色になると思う。だから回りのやっている事を意識するというよりは、俺達はこうやってやっていけば勝手に火曜日っぽいなってなると思う。後は平日なのでそういう部分で意識はしてるのかな。

■お二人で話し合いをしたりする事はありますか？

俺らの場合はそういう話しをするというより、今こうだよって言う事のタイミングが似てて、情報だったり凄く意識しているから、何かをやると思うわなくても勝手に同じタイミングで波に乗っているというか波を作ってるんじゃないかと。凄くやり易いです。学ぶ事もいっぱいあるし、自分のやる気を出させてくれるパートナーですね。だから俺もずっと続けているんですよ。

■先日のRED ZONEでBIG LEAFとBUDDHA STRETCHが来日し、HARLEM ver.2.0に収録されている「Are You Ready?」のライブが実現しましたが、この曲が生まれるまでの課程を教



えて下さい。

俺ってきっかけがないと何でも物事が始まらなくて、丁度良いタイミングというか、そういうのもやりたいなっていう気持ちもあるし、やらなきゃならないって気持ちもあって、そのきっかけがいつになるのか解らないって時にHARLEM ver.2.0の話があって、今しかない、焦ってでもやろうかなと。とりあえず何が出来るか分からないけど自分の中で納得いった事をやるしかないやみたいな。BIG LEAFとBUDDHA STRETCHは10年くらいの付き合いで、常に色々世話になっている人達だし、昔からラップをやって、自分のMIX TAPEでもフリースタイルでも出してもらってたりして、歌詞が全部分からなくても、DANCEで彼等の事は分かってたし、色々パワーを感じて、色々な部分で格好いいなと感じてたので、やるなら絶対一緒にやりたいと思ってました。丁度向こうとのタイミングもぴったり合って、それできっかけが出来て始まったという。結構のんびりしてる方だから。

■今後制作の予定は？

基本的には特にはないけど、今トラックをちょっとずつ作って、自然にそういうのも意識してやっていくと思うけど、でもあんまり焦らずに、良い物が出来たらどどんアピールしてという感じで、今は次のステップ、次のレベルに行きたいので、そっちの方も前より意識していきますね。DJもやりながら、作ることの楽しさを知っちゃったので、それはちょっとやりたいっていうノリで今はやっています。

■気になるプロデューサーは？

NEPTUNESは当たり前なんだと思うけど、PREMIEREとかPETE ROCKは今でも凄く好きですね。何かちょっとSOUL的なフレイヴァっていうか。MARK RONSONとかも凄く格好いいと思うし。やっぱりOLD SCHOOLが好きだから、ちょっとそういう臭いのあるようなプロデューサーに惹かれますね。TIMBALANDもそうだし、FIRST KLASやWATARAIも凄くと思うし、色々いますよ。名前を挙げたらキリがないくらい。

■KANGOさんの中のアイドルは？

DJではMARK RONSONやSTRETCH ARMSTRONGには凄く刺激を受けてたりとか、でも聴けば聴くほど自分はどうしていけばいいかっていう意識が出てきて、格好いいなって思いつつ、自分でもこういう風に思わせるっていう自分の色みたいなものを作りたくなって意識して、自然にTONY TOUCHでもKOYAでもそうだし、日本のDJからも色々な刺激を受けるから、今はアイドルというのは特に無いで

すね、彼になりたい！みたいなものは。3~4年前までは、BIG LEAFになりたいってくらい思ってた、だんだん内面とか楽しみ方やルーツを知っていく事によって楽しめるようになってきて、でも多分一生尊敬しているんだろうな。やり方とかじゃなくて、その人の生き様だったり、DJをやっている時の自分のモチベーションだったり、パッと見た時のオーラだったり、そういうのからまたパワーを貰ったりして。そういう人達を見てるから、アイドルっていうより、俺も早くその位置につきたいなっていう。MARK RONSONはいつも刺激を受けますけどね。この間もCD出て聴いたけど、何か幅の広がっているか、色々な曲をかけるバランスが凄く良いなって思っ。そういうDJに憧れる。流れと上手く引き出しを組み合わせていくっていう、DJもパズルみたいな部分があると思っ。その組立て方が凄く素晴らしいね、みたいな。そういう人には結構衝撃を受けますね。最初はそれがKID CAPRIだったり、STRETCH ARMSTRONGだったりで、MARK RONSONに出会って、そこで新たな刺激を貰って、若手だったらERICKやGOLD FINGERとか良いなって思う。MIXしてリリックで繋げたり面白いかけ方をする人に衝撃を受けるのでそういうDJがアイドルかな。

■HIP HOP以外のパーティーに遊びに行く事はありますか？

普通に行きますよ。HOUSEのパーティーに行ったりとか。そういう所で音の刺激を貰う事ってあんまり無いんですけどね。逆に言えば何にも音を気にしないで遊んでいるっていうか。たまにビーチのパーティーに行ったりとか。そういう所は自分も肩の力を抜いて遊べるからたまに行きます。

■最後に一言。

基本的には今のスタンスを変えないで俺はDJとしてこのままやっていこうし、どどんパーティーを盛り上げる為にDJをやる事ばかり考えて、RED ZONEに関して言うと、HIP HOPを中心に色々な音をかけていって、もっと新旧問わずやるようなスタンスを自分で意識して、お客さんとも理解し合いながら盛り上げられればなっていうのがありますね。あとダンサーは、もっと若い子にRED ZONE SPECIALでも出してもらって、下に繋げるように。凄いやつもいっぱいいると思うので、そこら辺ももっとクロスして一緒に盛り上げたい。あとはKOYAとお互い刺激し合いながらやっていきたい。RED ZONEに来て、みんな楽しんで下さい。酔っぱらって壊れるヤツが居てもいいくらいのノリで。でも喧嘩はナシの方向でお願いします。☺